

## 地球の歩き方編集部・取材&日記

地球の歩き方編集部による、取材レポートや日記ブログ。海外旅行ガイドブックの改訂や新刊の制作に向けて、スタッフが現地を旅して発見した最新・おもしろい・お得なネタをご紹介します。裏／B面ネタもあり？！

サイト全体のRSSを取得

### カテゴリー

- ◻ テーマ
  - ◻ ニュース
  - ◻ イベント
  - ◻ アート&音楽
  - ◻ 映画
  - ◻ グルメ
  - ◻ ショップ
  - ◻ ホテル&宿泊
  - ◻ 美容&健康
  - ◻ 鉄道
  - ◻ 日記
  - ◻ クリスマス
  - ◻ 旅のスタイル
  - ◻ プレゼント
  - ◻ 上海万博
  - ◻ 世界の“実走”取材レポート
- ◻ ジョーク
- ◻ エリア
  - ◻ ヨーロッパ
  - ◻ アメリカ
    - ◻ 北米
    - ◻ 中南米
  - ◻ 太平洋／インド洋の島々 & オセアニア
    - ◻ ハワイ
    - ◻ グアム・サイパン・リゾート
    - ◻ オセアニア
  - ◻ アジア
  - ◻ 中近東&アフリカ
    - ◻ 中近東
    - ◻ アフリカ
  - ◻ 日本

### 新着記事

- ◻ [永久保存バビロンに行ってみよう！](#)
- ◻ [ラマ島ハイキングで“ナチュラル香港”を満喫！](#)
- ◻ [R&Rと港町リヴァプール、そしてビートルズ誕生悲話映画『ノーウェアボーイ ひとりぼっちのあいつ』の旅の誘い度★★★★](#)
- ◻ [香港の日本人向け料理教室で本場の味を学ぶ](#)
- ◻ [【グランドサークルの旅・再び2】「眠れる虹の大地」～キャピトルリーフ国立公園](#)

### バックナンバー

- ：月別：
- ◻ [バックナンバー一覧](#)
  - ◻ [過去の最新取材レポート](#)
  - ◻ [過去の編集部今日も書い](#)

2010年10月23日  
【グランドサークルの旅・再び2】  
「眠れる虹の大地」～キャピトルリーフ国立公園

「地球の歩き方」プロデューサー 三戸良彦

キャピトルリーフNPは、ユタ州の南西部にある、南北に細長く広がる国立公園(NP)だ。グランドサークルのビッグネームである、アーチーズNPやブライスキャニオンNPの間において、日本人には今ひとつなじみがない。



■移動や拡大が自在なGoogleマップでキャピトルリーフNPの位置を確かめよう

しかし、およそ100マイルにも及ぶオーターボケット褶曲と呼ばれる地殻の隆起のまったただ中にあり、鮮やかな地層の色の対比を見せる崖やドーム、尖塔、ブリッジなどの岩の造形に囲まれたこの公園は、地質学的には非常に貴重な場所なのだ。



■見事な地層のカラーリング。まさに「大地の虹」のような

交通の便の悪い辺鄙なところなのだが、それでも、ユタ州のソルトレークシティへ直行便が飛ぶようになって、アクセスはしやすくなった。グランドサークルを旅するのなら、是非とも旅程に組み入れたい国立公園だ。

主要な見どころは、公園の中央部を横切るUT-24号線とそこから南へ下るシーニックドライブに集中している。

最寄りの町トーレイ Torreyから、UT-24号線を東に車を走らせれば、Chimney Rock(エンツ岩)やFluted Wall(縦に溝を彫られた壁)と呼ばれるユニークな地形や展望ポイントの案内が現れる。ビジターセンターのところでシーニックドライブに入るが、さらに直進すると後述のペトログリフ Petroglyphsやキャピトルリーフの「キャピトル」という名のもとになった白い岩のドームが見れる。



■エジプシャン・テンブル。シーニックドライブ沿いには、このような岩のドームがあちこちに現れる

岩壁に沿って走るシーニックドライブでは、ダイナミックな風景が広がる。車を停めて延々と広がる地層が露出した崖を見渡した。鮮やかに映える赤茶色の砂岩の層、対照的な白い地層、おそらく岩に含まれる成分の違いで表れたのか緑がかかった地層や黒い岩肌……それらが青い空と春の緑の大地に挟まれている。

ナバホの人々はこの地を「眠れる虹の大地」と呼んだという。思わず深呼吸をしたくなるようなこの風景を見て、私は彼らがそう名付けた気持ちを共有できたような気がした。



■岩壁に描かれたペトログリフ。この人々は、どこの誰なのだろう

この国立公園のもうひとつの特徴は、人間の生活を感じさせる遺跡があることだ。ひとつは、先住民が描いた岩絵(ペドログリフ)。そこに描かれた人の形から、「宇宙人では？」という説もあり、書物などでも時々紹介されるので、見たことがある人も多いだろう。



■フルータ Fruita は、緑豊かな気持ちのいい空間だ。ここの果物をもいで食べ

もうひとつは、この地が19世紀にモルモン教の開拓者が入植した土地であるということ。公園

検索

### 関連書籍紹介

amazon.co.jp で買う

プライバシーについて

ダイヤモンド社で買う

amazon.co.jp で買う

プライバシーについて

※amazonで最新版をチェック

ダイヤモンド社で買う

サーチ:

GO!

amazon.co.jp

[検索と購入]

地球の歩き方

お知らせ

痛恨の忘れモノ  
役立つスグレモノ  
教えて  
ください!  
>> 教える!

絵のつばやき・ぼやき場  
ダペルの塔  
今日も  
ダペルく? 夕べな?

地球の歩き方  
エアライン  
ランキング  
投票はこちら



ケータイからも投票受付中!

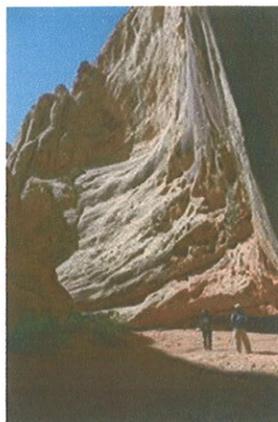
内には、彼らが拓いた果樹園や建物が残されている。フルーツ Fruita と呼ばれるかつての果樹園のエリアはキャンプ場になっている。果樹の緑が美しい気持ちのいい空間だ。さくらんぼやアプリコット(7月ごろ)、梨やリンゴ(8~9月)の収穫期になると自由に採取して食べることができるという(公園の外に持ち出す場合は、重さ当たりの料金がかかる)。そんなアクティビティがあるのはここだけだ。

車に乗って主要な見どころを回れば、半日あれば十分かもしれない。しかし、できることなら車を停めて是非トレイルを歩いて欲しい。私は、シーニックドライブの中ほどにある、Grand Wash Trail という水の枯れた川をさかのぼるトレイルを歩いた。

最初は幅の広い河原のような道だったが、進むにつれて、さまざまな地層を見せる断崖がだんだん高くなり道を狭めていく。The Narrows と呼ばれるポイントは、まさにその名の通り、絶壁に挟まれた人ひとりが通れるほどの狭い道となる。とはいえ、トレイルそのものは平坦で、左右には美しいワイルド・フラワーが咲き誇る、楽しいハイキング・ルートだ。

The Narrows を抜けるとトレイルはUT-24号線に続いているのだが、トレイルヘッドにレンタカーを停めた私たちは、The Narrowsから折り返して歩いてきた道を戻った。太陽が高く上り、花々は気持ち良さそうに日光を浴びている。同じ道なのに来たときとはまったく違う風景に見える。歩き疲れたことも忘れて、鼻歌混じりでトレッキングを楽しんだ。(取材時期:2010年5月下旬)

たたらうまいだらうなー!



■川の蛇行を曲がるたびに両岸の岩の表情が変わる。そして、狭く高くなる。トレイルは平坦だが、少しも飽きない



■黄色、レモン色、白、ピンク、赤、紫。春のトレイル歩きは、花も楽しみだ

■DATA

キャピトルリーフ国立公園  
Capitol Reef National Park  
URL: [www.nps.gov/care/](http://www.nps.gov/care/)  
TEL: (435)425-3791 ext.111 (Visitor Information)  
入園料: 車1台 \$5

※おもな見どころは、公園の中央部を横切るUT-24号線とそこから南へ下るシーニックドライブ沿いに集中していると書いたが、南北に細い公園のそれぞれの先にも地球的な規模の大絶景を見ることができる。ただし、さらに交通の便は悪く車で自由に入ることもできないようなところなので、一般の旅行者にはちょっとハードルが高い。北はカテドラルバレー、南はストライクバレー。ストライクバレーには天気が良ければレンタカーで向かうことができるが、カテドラルバレーにはツアーでないと参加できない。カテドラルバレーには、Temple of the Sun & Moon という「モノリス」が荒野にそそり立つ宇宙的な空間が現れる。ストライクバレーからは、ウォーターポケット褶曲 Waterpocket Fold と呼ばれる大褶曲地形を展望できる。

【グランドサークルの旅・再び2】  
「眠れる虹の大地」〜キャピトルリーフ国立公園のトップへ